29年度 港北区で行われる主な事業

まちづくり

日吉台小学校第二方面校(仮称)の整備 32年春 開校予定

小学校を新たに整備するため、28年度から地域・保護者の皆さんや学校関係者などで開校準備部会を設置し、通学区域や学校名などについて検討しています。今年度は、通学路の安全対策など、引き続き整備に向けた検討と校舎の設計を進めます。

綱島駅東口周辺地区のまちづくり

相鉄・東急直通線新綱島駅（仮称）周辺地区では、土地区画整理事業において用地の取得などを進めるとともに、市街地再開発事業の進捗に合わせて区民文化センターの設計を進めます。また、綱島街道を安全に横断できる立体横断施設の検討などを行います。

鶴見川中下流域における橋梁間隔短縮の検討

橋梁間隔が広い区間（新羽橋～新横浜大橋間）で、28年度は既存の新羽水道管の人道橋化について調査しました。今年度は引き続き、調査結果を踏まえ、検討を行います。

新羽車両基地の有効活用

市営地下鉄の新羽車両基地を有効活用する事業予定者を、28年度に決定しました。今後、物流センター、フットサルコート、レストラン・カフェ、屋上庭園などの実現に向けた協議や施設整備を進めます。

鉄 道

34年度下期 開業予定

相鉄・東急直通線(神奈川東部方面線)の整備

開業が34年度下期に延期されました。区内では、新横浜駅（仮称）と新綱島駅（仮称）が地下に整備される予定です。31年度下期に開業予定の相鉄・JR直通線（西谷～羽沢間）と合わせ、相鉄線と東急線との相互乗り入れが可能となり、利便性が向上します。

東急東横線ホームドア整備 29年度下期 完成目標

利用者の安全性や列車運行の安定性の向上のため、ホームドアを順次整備しています。28年度は日吉駅と菊名駅の整備を行いました。今年度は綱島駅と妙蓮寺駅の整備を進めます。

菊名駅のバリアフリー化 29年度下期 供用開始予定

東西通路と乗り換え通路のバリアフリー化の工事を鉄道事業者と進めており、年度内の供用開始を目指しています。

道 路

綱島街道拡幅に向けた事業化の検討

日吉～綱島間の拡幅整備の早期事業化に向け、28年度に引き続き調査・設計などを実施します。

宮内新横浜線の整備 31年度 開通予定

新吉田～高田間の都市計画道路の供用開始に向け、28年度は早淵川を渡る橋梁の高田側の橋台工事を行いました。今年度は、引き続き新吉田側の橋台と橋桁架設工事を進めるほか、道路整備に必要な用地の取得に努め、順次工事を進めます。

●問合せ　区役所企画調整係　☎540-2230　fax 540-2209

福祉・防災など

ウオーキングからはじまる健康づくり

「よこはまウオーキングポイント事業」の参加を促進するため、区内約100か所のリーダー設置店にフラッグを配布・設置します。また、利用者が多く公共性の高い階段に、企業と協働して健康づくりのPRを行う「健康階段」を整備します。

土曜両親教室

初めて出産する妊婦とその家族を対象に、平日開催の教室に比べニーズが特に高い土曜両親教室を、港北区子育て支援拠点どろっぷ・どろっぷサテライトほか、新たにニーズが高い他の地域でも開催するなど、事業を拡充します。

ひきこもり相談専門員による区役所での面談

ひきこもり状態にあるおおむね15～40歳未満の人やその家族のための相談を、区役所で毎月2回実施します。

いきいきシニア地域貢献モデル事業 29年度下期 開設予定

市内2か所目となる、高齢者の就労相談や地域と高齢者のニーズを一元化して提供する「生きがい就労支援スポット」を区内に開設します。

子ども食堂など、子どもの居場所づくり

区社会福祉協議会が中心となり、子ども食堂などの地域における子どもの居場所づくりや運営支援を行います。

地域防災拠点の環境改善など

地域防災拠点に指定した各小・中学校に、ストレス軽減のためのエアマットやパーテーションなどを早期配備し、避難場所を示す看板を設置します。また、防災アプリなどの情報発信用ツールの整備や、豪雨に伴い発生するがけ崩れに、地形の影響などで集まる多量の水が加わって被害が拡大する「小流域水土砂災害」の対策を進めます。

旧耐震基準の木造住宅の戸別訪問 29年度限り

昭和56年5月以前に着工した2階建て以下の木造住宅について、29年4月～30年3月末までに耐震改修工事に着手するものに限り、30万円増額します。また、市と協定を結んだ事業者が戸別に訪問し、補助制度などの周知を行います。

大規模スポーツ大会開催に向けた機運の盛り上げ

ラグビーワールドカップ2019™や東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け、競技団体などと連携してイベントを行うなど、区内を盛り上げ区民のふるさと意識の向上を目指します。

オープンデータ　港北区の取り組み

横浜市では、市民生活の向上や企業活動の活性化などを図るため、公共データを二次利用できる形で公開する取り組み「オープンデータ」を進めています。

港北区では、区ホームページで次のデータをオープンデータとして公開しています。

●区内公共施設など ●区の統計情報
●広報よこはま港北区版 ●区民意識調査結果
このほか、オープンデータを活用した子育て情報サービスの検討も進めています。

港北区　オープンデータ　検索

広報よこはま港北区版が スマホで読みやすくなりました

広報港北区版のデータを民間事業者が活用して、スマートフォンで読みやすい形で公開しています。

マイ広報紙　検索

※マイ広報紙は（一社）オープン・コーポレーツ・ジャパンが運営しています